

卒後藤谷塾 議事録

開催日時：平成 30 年 3 月 14 日（水）7：00～8：00

場所：テレビ会議

近況報告

A：麻酔科をローテート中。術中の循環・呼吸管理について指導医と一緒に管理している。気管挿管や抜管、動脈ラインの確保など行っている。

B：内科を回っている。患者を受け持ち、救急対応なども行っている。4 月からは整形外科を回る予定。整形の医師は自分たちのことを知らないので説明しながら関係性を培っていく。

C：内科を回っている。救急当番を週 2 回おこなっている。4 月からも内科を継続していく予定。今後は在宅看護のプロジェクトも始まるので係っていく。

D：RRS などの活動を行っている。現在も ICU 所属。来月からも ICU に所属していく予定。救急外来に週 2 回ほど行くことになるか未定。成果が見える形にするよう指導を受けている。

E：老健を回っている。今後は指導医が変わりそうだが未定。また看護師の数が減っており看護業務を行なっているが、期間限定であり特定行為から離れてしまうわけではなく、これも必要な時間と捉えている。現状としては医師数が減ったことで自分の指導に手が回らない状態となっている。

F：ICU で研修中。担当に適切な患者がいれば受け持ちなどを行なっている。4 月からは循環器内科にローテートする予定。

G：救急部へ移動した。4 月から総合診療科をローテートの予定。現在は週 1 回皮膚科外来を見させてもらっている。来週から診療看護師がサポートに入ってくれる。色々相談したい。

H：外科を回っている。デブリやドレーン抜去などを行っている。解剖を学ぶことも含め ope にも入っており、患者の受け持ちも行なっている。また内科があまり受け入れてくれないような印象を受ける。自分にできることを説明しながら、役割を確立していきたい。

I：上手くいっており特に問題はない。4 月以降も引き続き整形外科病棟を中心に活動。

J：内科に配属。患者の受け持ちもできている。病棟スタッフから病態の簡単な報告を受け、ラウンドしながらその都度対応している。

K：内科混合病棟に配属。夜勤業務も引き続き行なっている。研修については日勤勤務の時のみ。10 日/月くらい。身体診察等医師への報告（情報提供）が中心で、記録も指導医が確認し、必要ならば治療介入へと進んでいる。

症例報告

症例：褥瘡マネジメント

塾長のコメント：褥瘡のプレゼンテーションを行う際には、具体的に細く表記するように。この症例は褥瘡治癒の成功例であり、研修生にとって参考になる症例であった。